

### 学校だより

以下に記載の学年は、各学校行事実施時のものである。

#### 2023年1月から

#### 2月までの資格試験一覧

この期間に日専校生が取り組んだ資格・検定試験の一覧を記載する。

- 1月10日 技能士3級電子機器組立て作業実技、2月5日学科 (2年電気科)
- 1月20日 実用英語技能検定一次 (全学年)
- 1月22日 技能士シーケンス制御作業3級学科、1月24日実技 (2年電気科)
- 1月30日 剣道一級審査(2学年)
- 2月5日 技能士数値制御旋盤作業3級学科 (2年機械科)
- 2月19日 実用英語技能検定二次 (全学年)

#### 事業所交流セミナー

2年生を対象に、①事業所からの情報提供とニーズ伝達、②事業所実習・配属への意識付けを目的とした事業所交流セミナーを、10月から1月にかけて日専校体育館において4回実施した。講師として来校された日立ビルシステム水戸事業所の大宮昭弘さん、田口克雄さんからは安全の重要性や日専校生に期待するもの



のなどについて講演いただいた。日立ハイテクマニファクチャ&サービスの大部恵太さん(102卒)からは日工専への挑戦について、日立グローバルソリューションズ多賀事業所の上垣外佳吾さん(104卒)、日立製作所大みか事業所の赤間政成さん(93卒)からは技能五輪への挑戦について講演いただいた。それぞれ生徒から出された多くの質問に対して、講師から丁寧なアドバイスをいただき、大変有意義な時間となった。

#### 技能五輪交流会

12月21日、日専校体育館において第1回技能五輪交流会を実施した。当日は、茨城地区から技能五輪全国大会に出場した7事業所の指導員と事務局スタッフ18名に来校いただき、

き、事業所概要および技能五輪の職種・指導体制・訓練内容などについて説明していただいた。参加した2年生からは、選手に必要なスキルや日専校在校中に身に付けるべきことなど多くの質問が出された。技能五輪でメダル獲得をめざしている生徒だけではなく、技能五輪挑戦を迷っている生徒にとっては、技能五輪を詳しく知る良い機会となった。今後は、より多くの生徒が高い目標を掲げ、その達成に向けて勉強や実習に励んでくれることを願っている。なお、第2回は職種別にグループ分けをして、指導員と生徒の意見交流会を予定している。



#### 耐寒ランニング

毎年の体育行事である「日専校10kmマラソン大会」を1月19日に国営ひたち海浜公園で開催を予定してい



たが、新型コロナウイルス感染症が第8波の流行期に入り、残念ながら今年度は中止とした。例年、大会に備え、事前に約1週間、平日の朝の登校後授業前に、学校グラウンドで「耐寒ランニング」を実施している。これについては今年度も予定通り、1月11日から5日間実施した。体育委員のリードにより、全校生徒がラジオ体操、日専校体操の後、グラウンドから校舎前坂道、匠の道(学校内の林間)を走る。その他、体育の授業や部活動でも、この時期はランニングの練習を行っている。コロナ禍で運動も制約されることがあるができるだけ体も鍛え、心技体のバランスを整えていきたい。

#### 2年生OB訪問交流会

1月中旬から2月上旬にかけて、日立ハイテク那珂地区、日立製作所大みか事業所、日立グローバルライ

フソリューションズ多賀事業所、日立製作所日立事業所臨海工場を訪問し、日専校のOBが働く職場の見学およびOBとの意見交流会を実施した。今回は感染症対策も考慮して、2年生をクラス毎に11グループに分け、社会勉強も兼ねて事前に公共交通機関を利用した移動手段を調査し、教職員の引率なしで事業所を訪れた。生徒は、事業所を選択するための情報を得るとともに、現場・現物・現実の三現主義に触れることにより、仕事の理解度や就業意欲を高めることができた。コロナ禍の中ご協力いただいた事業所の関係者ならびに当日ご対応いただいたOBの皆様感謝したい。



技能士シーケンス制御作業3級  
1月22日に学科試験、1月24日に  
(6頁へ続く)

(5頁の続き)

実技試験の2日間、2年生電気科制御コース(今年から設けられたコース)全員8名が国家検定「3級電気機器組立てシーケンス制御作業」試験に挑戦した。本検定試験は自動生産設備等の制御(頭脳)に相当するPLCのプログラム作成レベルや周辺機器(スイッチ、センサー、モータ等)構成による総合的な技能技術レベルを認定する試験である。生徒たちは、シーケンス制御プログラムの基礎となる3級レベルのラダープログラムを実習で学び、過去問題や模擬問題に取り組み、十分に準備をして試験に臨んだ。当日は全員が緊張した面持ちながらも落ち着いて取り組み、培った技能を遺憾なく発揮していた。合否は3月10日に発表される。



### 2年生国内語学研修

1月27日〜28日、福島県天栄村にあるブリティッシュ・ヒルズにおいて、2年生の英語研修を実施した。



全国的な寒波の襲来により最高気温が零下という厳寒で雪が降り続く天候ではあったが、英国から材料を運搬して建築された数多くの建物や調度品により、日本とは思えないような異国情緒豊かな環境を作り出していた。英語レベル毎に4つのグループに分け、現地スタッフと英語のみ使用した2日間で5つの研修を受講するというタイトなスケジュールではあったが、参加が自由な2つのアクティビティに約半数の生徒が挑戦するなど、積極的な行動が印象的であった。修了証書授与式では、生徒会長の佐藤琉くんの英語による挨拶で講師のスタッフに御礼を伝えることができた。語学力の向上だけでは

なく、校外の環境や施設におけるエチケット・マナーの習得にも繋がる研修となった。

### 剣道一級審査会

新型コロナウイルス感染拡大の影響で延期されていた剣道一級審査会が、1月30日に日立地区剣道連盟の先生方(審査員)にご協力いただき、3年ぶりに本校修道館で行われた。当日は2年生57名が日頃の練習の成果を発揮すべく審査会に臨んだ。課題は実技審査(切り返し、互角稽古)と形審査(木刀による剣道基本技稽古法)である。コロナ禍の行動制限により事前の練習時間等、準備不足の生徒もいたが、それをも吹き飛ばす気迫ある立会いで見事57名全員が剣道一級に合格した。また、審査終了後の講評で「剣道一級としての技能習得はもとより、日専校生の気迫あふれる剣道、礼儀正しさに感



銘を受けた」とお褒めの言葉をいただいた。

### スクーリングテスト

2月2日に1、2年生が、科学技術学園高校(以下「科技高」)の後期試験に臨んだ。日専校は科技高と技能連携しており、科技高の卒業資格を取得するための条件の一つとして、教育課程で履修登録している普通科目の試験にパスする必要がある。この試験は前期、後期の年に2回行われる。科目は、1年生が「地理総合」「数学I」「科学と人間生活」「保健」「家庭基礎」、2年生が「日本史A」「数学II」「物理基礎」「保健」である。日専校の定期試験とは別に行われるこの科技高試験でも、生徒たちは事前学習の上、真剣に臨んでいた。

### 技能五輪電気溶接職種大会

2022年度技能五輪「電気溶接職種」茨城県大会が、本校並びに日立ビルシステム・日立事業所を会場に実施された。この大会は2023年度技能五輪全国大会の県代表を選考する大会となり、本校から2年溶接科の黒田大貴と佐藤琉の2名が出場した。

昨年までは技能五輪部として活動していたが、今年度より技能五輪チャレンジコースと位置付けを変え、二人は陸上部員として部活動をしつつ、技能五輪の練習を行っている。

練習時間への制限、また新型コロナウイルス感染症への対応等があり、十分な練習時間が取れない中で大会への挑戦となった。立会人がいる中で厳粛な雰囲気での課題製作で、両選手とも緊張をしながらも今までの練習の成果を充分に発揮した課題を提出することが出来た。

2年溶接科 黒田 大貴

県大会に出場して印象に残ったことは、日頃のパフォーマンスを発揮する難しさです。訓練と本番は全く別物だと感じました。組み立てから小さなミスをしてしまい、気持ちも少し落ち込んでいたのですが、しっかりと切り替えて、最後まで諦めないで課題を提出することが出来ました。これから、全国大会に向けては、今回の県大会の経験を最大限に活かして、努力し続けたいと思います。

2年溶接科 佐藤 琉

県大会に出場して一番に感じたことは、本番の独特の空気感です。今まで何度も課題を組んできましたが、大会に出るのは初めてなので、なかなか自分の感覚で作業が出来ませんでした。焦りと緊張



(7頁へ続く)

(6頁の続き)

でふわふわするような感覚で、スタートから容器組み立てまで作業を進めていました。その後はいつもの感覚を取り戻し、落ち着いて作業ができ、大きなミスもなく、無事課題を提出することができました。これからは、この経験を活かして、全国大会に向けたより良い訓練をしていきたいと思います。

### 学年末試験

日専校は二期制であり、年間に定期試験が前期と後期に各2回ある。2月13日、14日の2日間、1、2年生に今年度最後の定期試験の学年末試験を実施した。今回に限らないが、様々な学校行事、研修、検定試験などの中で行われる定期試験だが、生徒たちは「考動アクション」で学んでいる「スケジュール管理」「目標管理」により、自分のキャリアアップに必要なイベントを二つひとつ確実に進めている。試験の結果は、後日、ITサポートシステム「Classsi」を通じて保護者の皆様へ報告する。

### 日専校職員投稿

日工同窓会の記録 杉山 浩

近年、日専校に残る創立以来の貴重な写真を整理保存した。300枚の写真を解説付きで、日専校の歴史展示室に展示するとともに、日工同窓会にご協力をいただき、同窓会のホームページで検索閲覧できるようにした。また、この同窓会報でも連載『日専校歴史写真』で紹介している。110年の学校の歴史を是非、写真でご覧ください。

この整理をする上で苦心したのは、写真一枚一枚を「いつ撮って、何が写っているのか」の情報と結びつけることであつた。この情報がないと記録写真としては価値がない。更に背景が分かれば深みが増す。情報のメモが添えてあつたり、裏書きされていた写真も多かつたが、ないものもあつた。この際、同窓会の記録がとも参考になつた。創立10年記念写真帖、35周年記念同窓会報、50周年記念誌、65周年記念誌『我ら日立の底流たらん』(もはやバイブル、これらは今や一級資料である。そして1929(昭和4)年に創刊され、現在も続くこの同窓会報。

100年続く同窓会も珍しいが、その間、会報を発行し続け、しかも保存されている所が他にあるのだろうか。100年の記録は同窓会の歴史であり、日専校で学び、日立で働いた人びとの人生である。それは後世の私たちに示唆を与えてくれる。

記憶は人とともに消えるが、記録は残り、後世に伝わる。ただし、記録には意志が必要であり、日工同窓会にはそれが途絶えることなくある。今回も立派な100周年記念誌が発行された。今後も日工同窓会の記録を期

待している。

### 離任者紹介

根元 重則先生



出身事業所…日立  
電線(株)  
担当…電気一般  
5年7ヶ月の在

任期間中は、生徒のみなさんから多くの刺激をもらい、私自身も成長させていた、いただいたように感じています。生徒の皆さんには、自分の可能性を信じ、日立のモノづくりを支える一員に成長してくれることを期待しています。今後は時間講師として力を尽くしていきますので、どうぞよろしくお願ひします。